

## 女性防災推進局令和元年度第3回委員会報告

日時：令和2年2月16日 10:00～12:00

場所：全国町村議会館 2階会議室

参加者：福本、高橋、坂本、大月、益子、保田 別府副理事長

議題：女性防災推進局の活動（今後）に関して

### 1. 研修事業の立案に関して(新企画案：坂本委員から女性防災士の集いに関して

高橋委員から防災キャンプ実施に関して)

#### ① 坂本委員から大阪で女性防災士の集いを開催したい旨、定案があった。

富山県等で開催されているため、女性防災士の横のつながりを作って活動の輪を広げることは意義ある事と思われる。

大阪支部との連携も図りながら企画して欲しい。

具対的な案ができた段階で本部に報告をあげて、可能であれば支援をいただきたい。

大阪支部の援助も期待したい。

#### ② 高橋委員から実際にキャンプをして、ライフラインの途絶した体験型の研修をするのはどうかとの定案があった。香川での防災キャンプの説明があり、第1回は女性防災士のみの参加で実施したい意見が多く委員から出た。女性特有の大変さを体験し、そのための備えを考える。研修案を出す前に委員のみで勉強会を兼ねてキャンプを実施したい。企業に協賛いただくのも一案。

### 2. 地区内連携と「女性目線で考える地区防災計画」に関して（大月委員から）

石川県白山市で11月9日（土）に開催されたワークショップの報告があり

女性防災士から地区防災計画立案や参加が難しい理由と今後どんな計画を立てるかを

具体的に議論して、意見を集約した結果や石川方式の誰でもが実施できるマニュアルが存在することを聞いた。マニュアルがあるとワークショップが運営しやすい。

石川方式を参考に、女性防災推進局でマニュアルを作りワークショップを全国展開させるのが、各地にいる女性防災士や男性防災士の活動支援に綱がる。

### 3. 予算の問題

令和2年度は本部からの予算が50万円と限られているので、企画に応じて別途支部連や本部から、支援の予算は交渉したい。女性防災推進局が企画した研修会で黒字が出た場合は、女性防災推進局予算に組み込んでもらいたい。

### 4. 別府副理事長から非常食の試食を定案いただき、当日全員で試食

単品でとても美味しく完成されたもの、組み合わせでおいしくいただけるもの、介護用にペースト状にされたものなど、色々の商品があり、いずれもレトルトパウチ状態で、嵩張ら無いため、備蓄に適し、食後のゴミの軽減になる。賞味期限も1年くらいなのでしまい忘れも防げる。

女性防災推進局では液体ミルク普及に努めてきたが、高齢者に配慮した食の備蓄の必要性もアピールしていきたい。ペースト状の食品は幼児にも転用可能で、地区防災計画の中でも取り上げていきたい。

### 5. 午後は全委員がスキルアップ講座「減災力を高める地域リスクの可視化」に参加した。

参照資料：議事録

保田 来年度の予算は、議連と同じく 50 万円

実績を出して本部に認めていただくしかない

別府 予算が全体予算 5,000 万円、使い方が決まっている

議連は旅費が別途（自己資金等）出ているが、

女性はその資金がない

交通費も含め、予算増で対応してほしい

女性局からの提案をしてもらえたら、理事会の中でも提案をしやすい

女性が活動しているものを自分たちの活動だけでなく、防災士会全体に広がるような活動を希望する

発足以降、会員増を重点にしてきたが、防災士制度自体の改革を進める必要がある

（質の向上）

保田 昼食に非常食を試食するが、液体ミルクの備蓄も大切だが、今後人口比率がどんどん高まる高齢者対策のことも考えていかなければならない

本部開催の研修は、赤字にならないような仕組みがなければ続けてもらえない

その研修を積み重ねることで地域の防災力が向上するような研修が必要

「女性防災研修会・地区防災計画を考える」（資料参照）

大月 「女性防災士研修会（地区防災計画を考える）」

※後日、研修で使用した資料を委員宛に送付

石川県で実施（会場費無料）

地区防を進めるにあたって…

「難しい理由」をまず出してもらうことから始ははじめ、そのうえでどのような計画を立てるか話し合った

地域の自主防に防災士がうまく入り込めていない

女性たちが集まる機会があったことがよかった

各地で取り組まれている内容を紹介し合うよい機会

この研修で出た課題を解決していけるような研修を実施していきたい

保田 情報共有の場の重要性

阪本 この女性推進局が全国の取り組み事例を収集して発信していける組織だと思っていた

保田 堺で活動している人のノウハウをもらって展開する（?）

阪本 支部主催のイベントではなく、女性防災推進局として主催したほうが女性が参加しやすいのではないか

別府 本部予算、支部連絡協議会予算、支部予算？

保田 女性推進局考案の研修パックを作成する

大月 石川県で 2 年前に初めて実施した研修は、研修を開催する基本のことを検討

開催日、設定時間、WS の進め方、スライド枚数…etc

保田 地区防を主軸に考えて進めていきたい

「防災キャンプ」(資料参照)

高橋 2020年1月に香川で開催

女性のみ定員20名、講師「あんどうりす氏」

日曜日15時集合～月曜日11時解散

個人準備物は一泊(避難所想定)するのに必要なすべての準備、飲食物

冷蔵庫(冷凍庫)の中から何か1品

宿泊は、大学の講義室、廊下続きのフリースペース、市中泊(各自自由)

トイレは2つ、和式トイレはそのまま使用可

洋式はビニール袋をかけて給水体を使用(おむつ、ペットシート、猫砂等)

全体 全体で実施までに女性局で一度実施してみる

実施時期は10月のぼうさいこくたいと同日もしくは10/30～11/3のどこか

ぼうさいこくたいと同日の場合は広島、11月の場合は会場探し

保田委員より広島支部長に連絡を取り、女性の代表者連絡を教えてください

研修時間、内容、対象人数・年齢・性別等、今後検討が必要

Lineのビデオ通話を利用して、簡易ミーティング実施